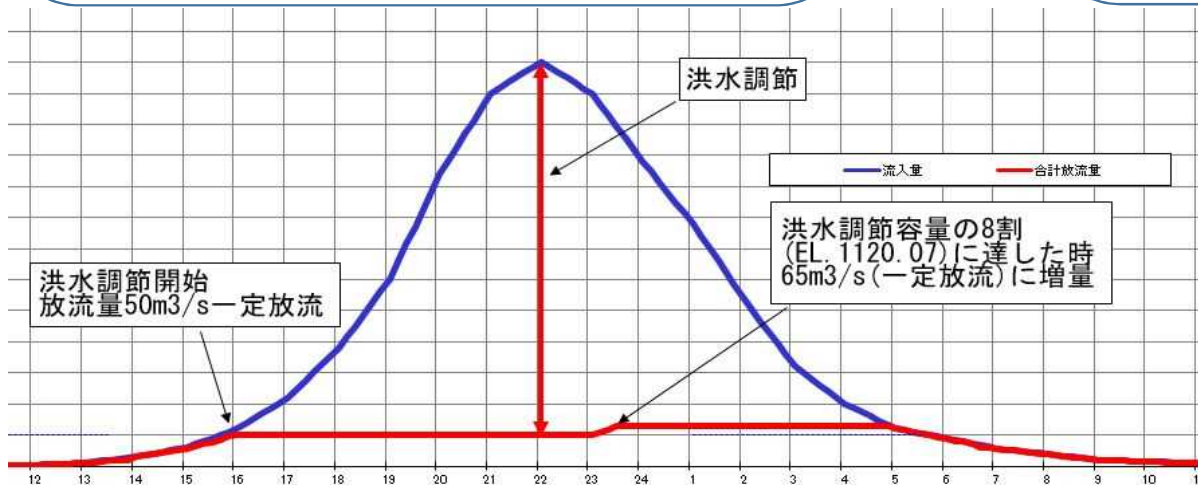


洪水調節（通常の防災操作）

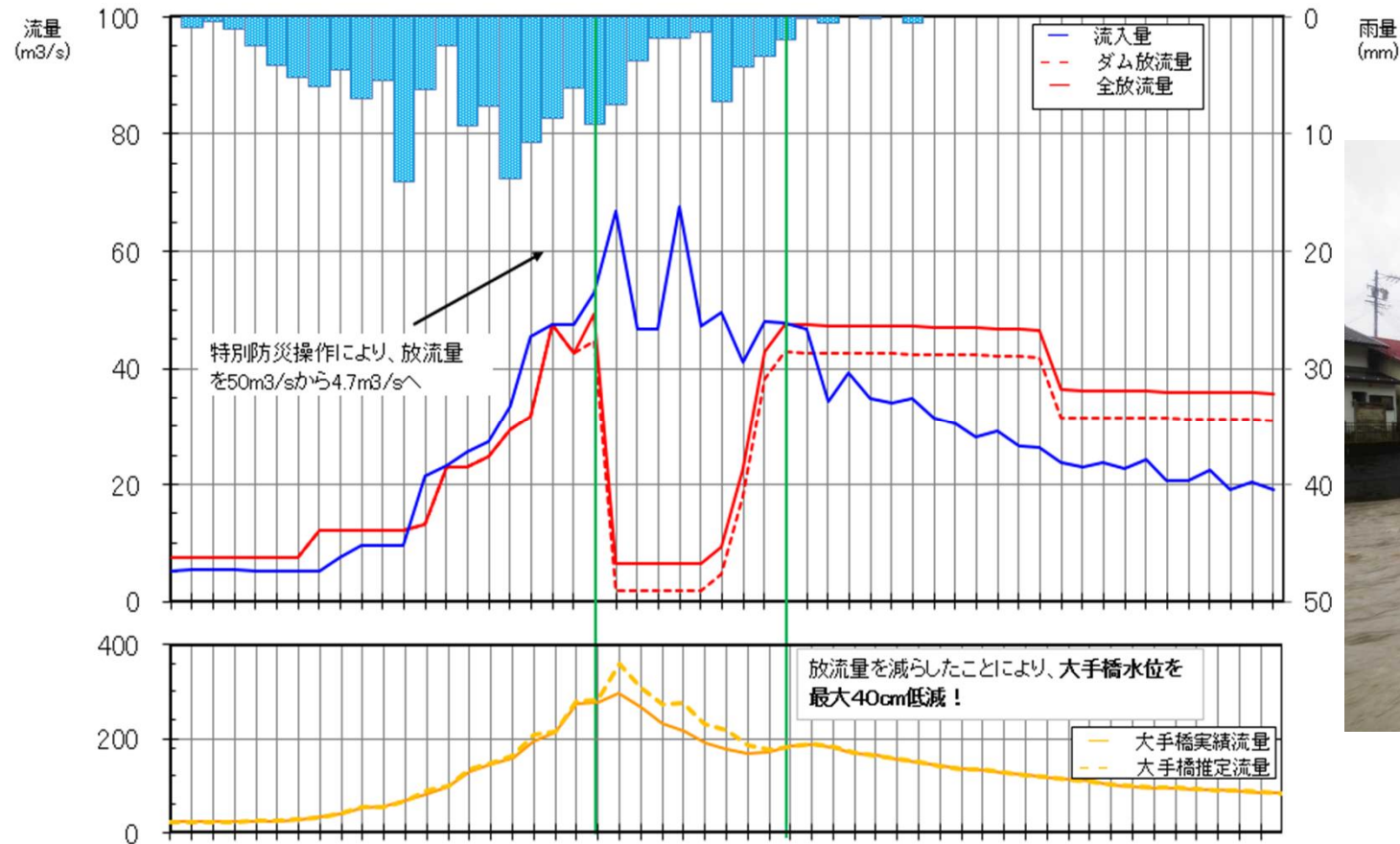
味噌川ダムは、大雨で発生した洪水の一部をダムに貯めて下流の被害を軽減させます。
ダム地点の計画高水流量650m³/sのうち、600m³/sの洪水調節を行います。
洪水調節容量の8割に当たる貯水位(EL.1120.7m)を超えた時点で、65m³/sまで増加させます。



洪水調節(特別防災操作)

特別防災操作とは、大雨などの際、ダムに流れ込む水の一部をダムに一時的に貯め込み、ダムから下流へ流す量を減らし、下流の水位を低減させる操作です。

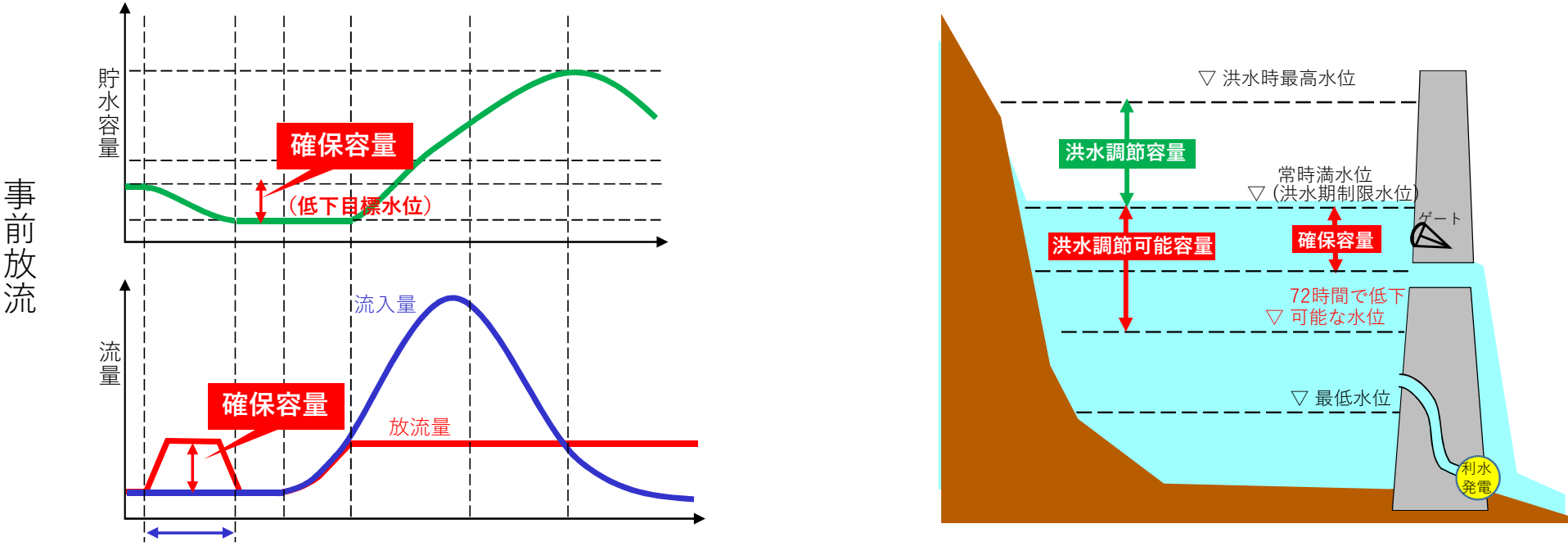
R3年5月20日～5月21日の大雨の際は流入量をほとんど全量貯留する特別防災操作を実施しました。これにより、ダム下流の大手橋地点の河川水位をダムが無いときと比べて約40cm低減させました。



大手橋地点(21日16時時点)

洪水調節（事前放流）

計画規模を超える出水が予想される場合、洪水調節を実施する前に利水容量の一部を放流することで、下流河川の被害を軽減させます。



確保容量（不足する容量） = ダム総流入量 - 洪水調節容量 - 利水空き容量 - ダム総放流量